

いきものふれあいの森 通信

2026.06.18 第19号



○ 古民家、石窯利用

5月24日(日)には、ボーイスカウト中信地区の皆様、施設内の古民家や石窯をご利用いただきました。「いきものふれあいの森」での活動は久しぶりとのことでしたが、薬草園をはじめとする周辺エリアも存分に活用し、ゲームを通じた主体的な取り組みを展開されている姿がとても印象的でした。石窯等の利用においても、餃子の皮で作った『ピザ』や牛乳パックを使った料理法などの様々な工夫が見られました。皆様にとって充実した活動となったようで、うれしく思います。またのご利用をお待ちしております。



○ アルプス公園の初夏を楽しむ

6月6日(土)、「自然観察の会 ひこばえ」の皆様による自然観察会が開催されました。参加者は、森の入口休憩所に集合したあと、講師の村上さよ子氏とともに、目的地の古民家へ向けて出発しました。道中では朽ち木にいた「ニジゴミムシダマシ」という光の当たり方によりキラキラと輝く昆虫を観察しました。



(「ナガニジゴミムシダマシの仲間」

写真提供：那須野雅好氏)

また、判別が難しいイネ科の外來種「カモガヤ」については、花穂で見分ける方法などの解説に



熱心に耳を傾けていました。

さらに道を進めると『マムシグサ』や、この季節に赤い実を付けている『ウグイスカグラ』を発見。坂道を下る途中には、リスがクルミを食べた痕跡やシカが園路を横切って森へと抜けていった獣道も見ることができました。



古民家の近くでは、香りが魅力(甘い優しい芳香)のつる植物『スイカズラ』なども観察しました。

その他、石の間に園内で見かける事ができる釣鐘状に咲く『ヤマホタルブクロ』が咲いていました。



参加者の一人一人が小さな気付きを大切にしながら、実りの多い観察会となりました。秋にもイベントを開催する予定です。興味のある方は、是非一緒に自然観察してみたいはいかがでしょうか。お待ちしております。

古民家では、タケノコ、柿の葉、タンポポ、クズ、フキといった山菜の天ぷら等を味わい、料理を通じて初夏の訪れを感じました。



○ 親子でゆっくり森あそび

6月8日(月)、「もりのくらふと」の皆様による「森のさんぽと焼き火パン」が開催されました。

参加者は北入口駐車場に集合し森遊びのコツや自然の中に潜む危険についてのアドバイスに耳を傾けながら子供たちは、元気いっぱい古民家へと出発しました。

古民家に到着後、まずは、BBQ ピットで焼き火パン作りのための火起こしを行いました。準備の間、子供たちは古民家周辺で、昆虫

観察などを楽しみました。その後、パン作りの方法を教わり、子供たちと一緒にパン作りがスタートしました。コーン、チョコレート、チーズ、ちくわ、みそなど、お好みの具材をパンで包み、枝に巻き付けて焼くパンです。



焼き上がりを見極めるコツは、パンが枝や串から外れやすくなることが、合図のようです。外はカリカリ、中がふっくらと焼きあがったパンに参加した皆様も大満足の様子で楽しんでいました。

次回、7月8日(水)には、「いきもの探し(水辺の観察)とプチ工作」が予定されています。ご参加お待ちしております。



○ アルプス公園サポートクラブ 活動報告

5月27日(水)、6月10日(水)、には、花の丘の正面入口の階段中ほどと山頂部にある花壇の手入れを行いました。

花壇内にあるマツムシソウ(写真) やツリガネニンジン、ギボシ、ヤブカンゾウ、カリガネソウなどの



山野草が花壇内に浸食してしまった芝生や雑草に



負けられないよう、草取りや環境整備を実施しました。また、花壇の境界線が分かりにくくなっていたため、エリアを区切る簡易的な柵を設置しました。これで、迷わずにお花を楽しんでいただ

けるのではないかと思います。皆様に、美しいお花や木々を引き続き楽しんでいただけるよう、活動しております。より良い公園づくりと「花の丘」の景観保全のため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。短い時間で楽しく作業を行っていますので興味のある方は、ぜひお気軽にご参加ください。



伝 言 板

「アルプス公園サポートクラブ」

ボランティア 花の丘作業

・場所 アルプス公園 花の丘

・日時 7月8日(水)

午前8時30分～10時30分

・集合場所 花の丘階段の下

(東駐車場の架け橋を渡った先)

お気軽にご参加下さい。